２０２６年１１月１２日
損害保険ジャパン株式会社
ピムト株式会社

移動型無人販売ロボット「PIMT-0」の成田国際空港３台運用開始に伴い保険提供を開始
～安心・安全なロボットの利用環境に貢献し、地域社会の課題解決を後押し～

損害保険ジャパン株式会社 （代表取締役社長：石川 耕治、以下「損保ジャパン」）は、観光振興や人手不足などの地域社会の課題解決を目指すピムト株式会社（代表取締役社長 兼 ＣＥＯ：改發 壮、以下「ピムト」）に対し、移動型無人販売ロボット「PIMT-0」の使用、管理中の万一の事故に備える保険の提供を開始しました。

１．背景・目的

ピムトは、AI とロボティクスを融合した移動型無人販売ロボット「PIMT-0」を展開しています。同ロボットは、人が集まる場所へ売り場を変えてアプローチし、欲しいものを欲しいときに欲しい場所で提供し、従来自販機や店舗を設置しづらかった空間に新たな買い物体験を創出します。施設に対しては、未活用スペースの商業化による新しい収益機会の提供、省スペースでの柔軟な設置、さらに無人販売による人手不足の解消と運営効率化を同時に実現します。これまでにない「新しい買い物体験」を提供すると同時に、商業スペースや未活用空間に「新しい収益」を生み出す次世代の無人リテールソリューションです。

このたび、両社の地域社会の課題解決に懸ける思いが一致し、移動型無人販売ロボットの普及・拡大を後押しすることといたしました。具体的には、「PIMT-0」の使用、管理中の瑕疵により生じる損害賠償責任（利用者の身体障害、財物損壊）をカバーする保険を提供し、安心・安全な利用環境の整備に貢献します。

２．成田国際空港での実装

２０２６年４月からの成田国際空港でのサービス開始以降、「PIMT-0」はインバウンド需要を的確に捉え、当初想定を上回る実績を記録してきました。空港内における無人販売ロボットサービスの経済合理性と実用性の高さを証明することで、７月から２台体制となり、１０月１日には３台体制へと増台しました。

こうした「PIMT-0」の利用拡大と、今後空港以外にもさまざまな施設へ展開される将来性を見据え、損保ジャパンは保険の提供を開始しました。このたびの発表は、今後の「PIMT-0」の全国的な普及を後押しするものです。



３．今後について

「PIMT-0」は、空港以外の公共施設や商業施設、宿泊施設等での利用や、各種イベントでの利用、買い物が困難な地域での利用など、さまざまなシーンで活用されることが期待され、観光振興や人手不足の解消、福祉的就労等の地域社会の課題解決に資するものと考えています。

損保ジャパンは、地方創生に貢献すべく、全国で３５０を超える自治体と連携協定を締結しています。今後は、この全国的なネットワークと損害保険会社としてのノウハウを生かし、観光振興や人手不足などの地域課題を抱える自治体へ「PIMT-0」の活用を検討してまいります。

以上